

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮崎情報ビジネス医療専門学校
設置者名	学校法人宮崎総合学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	診療情報管理士科	夜・通信	9 単位	9 単位	
	医療事務科 (2年制)	夜・通信	6 単位	6 単位	
	医療事務科 (1年制)	夜・通信	3 単位	3 単位	
	総合ビジネス科	夜・通信	7 単位	6 単位	
工業専門課程	情報システム科 (2年制) ITエンジニアコース	夜・通信	6 単位	6 単位	
	情報システム科 (2年制) ドローン・eスポーツ・ロボットコース	夜・通信	6 単位	6 単位	
	情報システム科 (2年制) 新課程 CG・映像クリエイターコース	夜・通信	6 単位	6 単位	
	情報システム科 (2年制) 新課程 Webクリエイターコース	夜・通信	6 単位	6 単位	
	情報システム科 (高度専門士)	夜・通信	13 単位	12 単位	
教育・社会福祉専門課程	子ども未来科	夜・通信	9 単位	9 単位	
(備考) 情報システム科 (高度専門士) は令和5年度4月より募集開始。 総合情報科 (4月・10月入学) 募集停止 国際ビジネス科 (2年制) ・国際ビジネス科 (1年制) ・キャリアマネジメント科は留学生のみの学科					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/2-keiken-ichiran.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/2-keiken-ichiran.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮崎情報ビジネス医療専門学校
設置者名	学校法人宮崎総合学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/riji.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	民間企業代表取締役	2023.4.1 ～ 2026.3.31	外部理事として、組織運営体制へのチェック機能を果たすとともに、学校法人の最終的な意思決定機関である理事会において、学校運営計画の策定等に対してその知見の十分な活用を図る。
非常勤	元県職員		
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮崎情報ビジネス医療専門学校
設置者名	学校法人宮崎総合学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業計画(シラバス)は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定。</li> <li>• 授業計画書(シラバス)は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を2月下旬とし、3月末日までに校内カリキュラム検討委員会において最終確認を行う。 4月初旬(授業開始)を目途に学生に公表し、ホームページにて公開。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	学校ホームページにて公表 <a href="https://www.miyajobi.ac.jp/syllabus">https://www.miyajobi.ac.jp/syllabus</a>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・ 評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・ 評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・ 考査資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考査の対象とならない。従って、成績いかんにかかわらず不可となり追試験を受験する</p> </li> <li>・ 追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない（留年）</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入</li> </ul> </li> </ul>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平均値により算出</li> <li>・ 各学科、科目ごとの成績一覧表を作成し、順位付けを行い、総合評価を実施</li> <li>・ 成績表は保護者にも送付し、成績下位者の学生については、三者面談を実施</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページ 「学校概要」 進級・卒業の要件等  <a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/15.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/15.pdf</a>   <a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/seiseki-ki jun.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/seiseki-ki jun.pdf</a></p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧において確認、指導を実施</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <ul style="list-style-type: none"> <li>1年制課程 31単位</li> <li>2年制課程 62単位</li> <li>3年制課程 93単位</li> <li>4年制課程 124単位</li> </ul> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページ 「学校概要」 進級卒業の要件等  <a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/17.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/17.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮崎情報ビジネス医療専門学校
設置者名	学校法人宮崎総合学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4zaimu.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	診療情報管理士科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	107単位	51単位	35単位	24単位	0単位	0単位
			110単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		25人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画（シラバス）は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>授業計画書（シラバス）は、共通フォーマットにて作成する。シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬（授業開始）を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・考查資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかにかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> <li>・追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。(留年)</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料(1科目1,000円)を納入する。</li> </ul> </li> </ul>								
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表(出席率・成績・単位取得数・取得検定試験)および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1年制課程</td> <td>31単位</td> </tr> <tr> <td>2年制課程</td> <td>62単位</td> </tr> <tr> <td>3年制課程</td> <td>93単位</td> </tr> <tr> <td>4年制課程</td> <td>124単位</td> </tr> </table> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>	1年制課程	31単位	2年制課程	62単位	3年制課程	93単位	4年制課程	124単位
1年制課程	31単位							
2年制課程	62単位							
3年制課程	93単位							
4年制課程	124単位							
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度 <p>試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</p> </li> <li>・法人全体の学費支援制度 <p>MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</p> </li> </ul>								



卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (%)	6人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ・医療機関（病院）			
(就職指導内容) ・自己分析 ・応募書類作成指導 ・面接指導 ・業界研究			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・診療情報管理士試験 受験者6名 合格者6名 ・がん登録初級者認定試験 受験者6名 合格者6名 ・診療報酬請求事務能力認定試験 受験者6名 合格者6名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携 ・スクールカウンセラーの利用 ・学費支援制度の充実		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療事務科 (2年制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65単位	34単位	18単位	24単位	0単位	0単位
			76単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		32人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画 (シラバス) は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>・授業計画書 (シラバス) は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬 (授業開始) を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・考查資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかんにかかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年）</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入する。</li> </ul> </li> </ul>
<b>卒業・進級の認定基準</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <ul style="list-style-type: none"> <li>1年制課程 31単位</li> <li>2年制課程 62単位</li> <li>3年制課程 93単位</li> <li>4年制課程 124単位</li> </ul> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>
<b>学修支援等</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度 試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</li> <li>・法人全体の学費支援制度 MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</li> </ul>

<b>卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</b>			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (%)	18人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ・病院、診療所、調剤薬局			
(就職指導内容) ・応募書類作成指導 ・面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・診療報酬請求事務能力認定試験 受験者36名 合格者20名 ・医師事務作業補助技能認定試験 受験者25名 合格者23名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由) ・体調不良のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携 ・スクールカウンセラーの利用 ・学費支援制度の充実		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療事務科（1年制）				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1	昼	32単位	20単位	6単位	18単位	0単位	0単位
			44単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		0人	0	3人	12人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>・授業計画書（シラバス）は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬（授業開始）を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・評価方法             <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・評価基準             <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・考查資格             <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかにかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年）</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入する。</li> </ul> </li> </ul>
<b>卒業・進級の認定基準</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <ul style="list-style-type: none"> <li>1年制課程 31単位</li> <li>2年制課程 62単位</li> <li>3年制課程 93単位</li> <li>4年制課程 124単位</li> </ul> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>
<b>学修支援等</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度 試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</li> <li>・法人全体の学費支援制度 MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (%)	5人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
・病院、診療所			
(就職指導内容)			
・応募書類作成指導 ・面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・医療秘書検定試験2級 受験者5名 合格者5名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	1人	16.7%
(中途退学の主な理由) ・学習意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携 ・スクールカウンセラーの利用 ・学費支援制度の充実		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	82単位	38単位	13単位	42単位	単位	単位
			93単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		40人	1人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>・授業計画書（シラバス）は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬（授業開始）を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・考查資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかにかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年）</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入する。</li> </ul> </li> </ul>								
<b>卒業・進級の認定基準</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>1年制課程</td><td>31単位</td></tr> <tr><td>2年制課程</td><td>62単位</td></tr> <tr><td>3年制課程</td><td>93単位</td></tr> <tr><td>4年制課程</td><td>124単位</td></tr> </table> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>	1年制課程	31単位	2年制課程	62単位	3年制課程	93単位	4年制課程	124単位
1年制課程	31単位							
2年制課程	62単位							
3年制課程	93単位							
4年制課程	124単位							
<b>学修支援等</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度 試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</li> <li>・法人全体の学費支援制度 MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</li> </ul>								

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	1人 ( 3.7%)	26人 (96.3%)	0人 ( %)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般企業 等</li> </ul>			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己分析→自己PR作成→履歴書作成</li> <li>・業界研究、企業研究</li> <li>・筆記試験対策、面接試験対策</li> </ul>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITパスポート試験 受験者16名 合格者2名</li> <li>・Webクリエイター試験 受験者4名 合格者4名</li> <li>・コンピュータ会計(3級) 受験者10名 合格者4名</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	1人	1.9%
(中途退学の主な理由) ・体調不良のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携 ・スクールカウンセラーの利用 ・学費支援制度の充実		

①学科等の情報

ア. 情報システム科（ITエンジニアコース）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業実務		工業専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65単位	23単位	26単位	25単位	単位	単位
			74単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		175人	4人	7人	10人	17人	

イ. 情報システム科（CG・映像クリエイターコース）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業実務		工業専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	88単位	6単位	41単位	52単位	単位	単位
			99単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		175人	4人	7人	10人	17人	

ウ. 情報システム科（Webクリエイターコース）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業実務		工業専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	71単位	17単位	15単位	57単位	単位	単位
			89単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		175人	4人	7人	10人	17人	

エ. 情報システム科（ドローン・eスポーツ・ロボット&ITコース）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業実務		工業専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	89単位	22単位	24単位	55単位	単位	単位
			101単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		175人	4人	7人	10人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>・授業計画書（シラバス）は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬（授業開始）を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・考査資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考査の対象とならない。従って、成績いかんにかかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> </ul>

<p>・追試験</p> <p>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</p> <p>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年）</p> <p>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</p> <p>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入する。</p>								
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件           <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位               <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">1年制課程</td> <td>31単位</td> </tr> <tr> <td>2年制課程</td> <td>62単位</td> </tr> <tr> <td>3年制課程</td> <td>93単位</td> </tr> <tr> <td>4年制課程</td> <td>124単位</td> </tr> </table> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>	1年制課程	31単位	2年制課程	62単位	3年制課程	93単位	4年制課程	124単位
1年制課程	31単位							
2年制課程	62単位							
3年制課程	93単位							
4年制課程	124単位							
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度           <p style="margin-left: 20px;">試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</p> </li> <li>・法人全体の学費支援制度           <p style="margin-left: 20px;">MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</p> </li> </ul>								

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 ( 0%)	32人 (86.5%)	5人 (13.5%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外IT企業</li> </ul>			
<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己分析→自己PR作成→履歴書作成</li> <li>・業界研究、企業研究</li> <li>・筆記試験対策、面接試験対策</li> </ul>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報技術者試験 <span style="margin-left: 100px;">受験者29名</span> <span style="margin-left: 20px;">合格者7名</span></li> </ul>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 2 3 人	8 人	6. 5 %
(中途退学の主な理由) ・体調不良、学習意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携 ・スクールカウンセラーの利用 ・学費支援制度の充実		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科 (高度専門士)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	134単位	69単位	25単位	51単位	単位	単位
			145単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	7人	10人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画 (シラバス) は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>授業計画書 (シラバス) は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬 (授業開始) を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>考查資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかにかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年）</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入する。</li> </ul> </li> </ul>								
<b>卒業・進級の認定基準</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>1年制課程</td><td>31単位</td></tr> <tr><td>2年制課程</td><td>62単位</td></tr> <tr><td>3年制課程</td><td>93単位</td></tr> <tr><td>4年制課程</td><td>124単位</td></tr> </table> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>	1年制課程	31単位	2年制課程	62単位	3年制課程	93単位	4年制課程	124単位
1年制課程	31単位							
2年制課程	62単位							
3年制課程	93単位							
4年制課程	124単位							
<b>学修支援等</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度 試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</li> <li>・法人全体の学費支援制度 MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</li> </ul>								

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (   %)	0人 (   %)	0人 (   %)
(主な就職、業界等) ・昨年度実績なし			
(就職指導内容) ・自己分析→自己PR作成→履歴書作成 ・業界研究、企業研究 ・筆記試験対策、面接試験対策			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・昨年度実績なし			
(備考)（任意記載事項）			



中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセラーの利用</li> <li>・学費支援制度の充実</li> </ul>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	子ども未来科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	112単位	74単位	31単位	14単位	0単位	0単位
			119単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		人	0人	2人	11人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画 (シラバス) は、職業実践専門課程認定の規定に基づき、年二回の教育課程編成委員会において、委員の意見をもとに校内カリキュラム検討委員会で審議し、校長の決済を経て決定する。</li> <li>・授業計画書 (シラバス) は、共通フォーマットにて作成する。 シラバスの作成期限を3月下旬とし、校内カリキュラム検討委員会で最終確認を行い、4月初旬 (授業開始) を目途に学生に公表し、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験、確認テスト、提出物、出席状況等で評価する。</li> <li>・評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。</li> <li>②検定関連科目は、検定結果を中心に評価するとともに科目終了時に試験・レポート等にて評価する</li> <li>③検定のない科目は科目終了時に試験・レポート等で評価する。</li> </ul> </li> <li>・評価基準 <p>原則以下の基準に従って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優」：科目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 概ね80点以上</li> <li>「良」：科目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 概ね70点以上79点以下</li> <li>「可」：科目に対する理解および日常の授業態度が通常な者 概ね60点以上69点以下</li> <li>「不可」：科目に対する理解および日常の授業態度が劣る者 59点以下</li> </ul> </li> <li>・考查資格 <p>科目終了時に、当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかにかわらず不可となり追試験を受験する。</p> </li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①不可の者には追試験を行い学習の機会を与える。</li> <li>②追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年）</li> <li>③追試験の合格者は原則として「可」評価とする。</li> <li>④追試験を受験する場合は所定の受験料（1科目1,000円）を納入する。</li> </ul> </li> </ul>								
<b>卒業・進級の認定基準</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・進級基準は入学時オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時に学生便覧にて確認している。</li> <li>・年度末に「卒業・進級認定会議」を開催し、ディプロマポリシーに基づき、成績一覧表（出席率・成績・単位取得数・取得検定試験）および学費納入状況を照合し判定を行い、卒業および進級の認定を実施している。</li> <li>・卒業条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度の要出席時間数の90%以上出席</li> <li>②卒業基準単位 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>1年制課程</td><td>31単位</td></tr> <tr><td>2年制課程</td><td>62単位</td></tr> <tr><td>3年制課程</td><td>93単位</td></tr> <tr><td>4年制課程</td><td>124単位</td></tr> </table> </li> <li>③成績評価に不可がないこと</li> </ul> </li> </ul>	1年制課程	31単位	2年制課程	62単位	3年制課程	93単位	4年制課程	124単位
1年制課程	31単位							
2年制課程	62単位							
3年制課程	93単位							
4年制課程	124単位							
<b>学修支援等</b> (概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の奨学金・授業料減免制度 試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度、ファミリー紹介制度</li> <li>・法人全体の学費支援制度 MSG大原カレッジリーグ特別学費支援制度</li> </ul>								

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 ( )%	3人 (100%)	0人 ( )%
(主な就職、業界等) ・認定こども園、幼稚園、保育園			
(就職指導内容) ・応募書類作成指導 ・面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・保育士資格 3名/3名（取得率100%） ・幼稚園2種免許状 3名/3名（取得率100%） ・社会福祉主事任用資格 3名/3名（取得率100%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	2人	10.5%
(中途退学の主な理由) ・学習意欲の低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による個別ガイダンスおよび保護者との連携 ・スクールカウンセラーの利用 ・学費支援制度の充実		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
診療情報 管理士	150,000 円	650,000 円	180,000 円	
医療事務 (2年制)	150,000 円	650,000 円	170,000 円	
医療事務 (1年制)	150,000 円	650,000 円	170,000 円	
総合ビジネス	150,000 円	650,000 円	170,000 円	
国際ビジネス (2年制)	100,000 円	520,000 円	100,000 円	留学生のみ
国際ビジネス (1年制)	100,000 円	520,000 円	100,000 円	留学生のみ
キャリア マネジメント	100,000 円	520,000 円	100,000 円	留学生のみ
情報システム (高度)	150,000 円	690,000 円	170,000 円	
情報システム (2年制)	150,000 円	690,000 円	170,000 円	
総合情報	150,000 円	690,000 円	170,000 円	募集停止
総合情報 (10月入校)	150,000 円	690,000 円	170,000 円	募集停止
子ども未来	150,000 円	650,000 円	170,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験による特別奨学生制度、資格取得による特別奨学生制度、AO入試制度</li> <li>・ファミリー紹介制度</li> </ul>				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r3jikotenken_houkokusyo.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r3jikotenken_houkokusyo.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検・評価を職員が一体となって取り組み、自ら学校運営、教育活動を改善していくとともに、特に、本校と関連の深い企業等の関係者、卒業生等からなる「学校関係者評価委員会」を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図っていくこととする。</li> <li>また、これらの意見を反映して、ややもすると学校側の意向に沿ったものに偏りがちな学校運営や教育内容から、真に社会が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、生徒、保護者の意向にも十分配慮した教育内容及び学校運営を目指す事を基本方針とする。</li> </ul> </li> </ul>

<p>・実施方法</p> <p>文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施。</p> <p>年1回、学校関係者評価委員会を開催し、「自己点検・評価報告書」を提示し、本校に関係の深い企業等の以下の委員に評価していただいた。委員の方々に、本校の教育活動や学校運営に関してご意見、提言等をいただき、学校運営の在り方について、改善を図っている。</p> <p>今年度の学校関係者評価委員会は、令和5年9月に開催予定（コロナウイルスの感染状況を見据えて開催日を決定）。</p> <p>・実施体制</p> <p>本校で組織する自己点検・評価委員会委員長（校長）及び教職員が承り、その評価結果の内容等について要約のうえ、自己点検・評価報告書として取りまとめている。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人宮崎県産業協会	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	業界団体
株式会社クラフ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	企業
株式会社フェニックスシステム 研究所	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	企業
宮崎診療情報管理研究会	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	業界団体
元社会医療法人同心会 古賀総合病院	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	医療機関
独立行政法人国立病院機構 都城医療センター	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	医療機関
株式会社坂下組	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	企業
株式会社ニューウェルシティ宮崎	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	企業
宮崎県幼稚園連合会	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	業界団体
学校法人福原学園 野の花幼稚園	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	幼稚園
株式会社デンサン	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p><a href="https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4kankeisya_houkokusyo.pdf">https://www.miyajobi.ac.jp/contents/wp-content/themes/miyajo/pdf/gaiyo/r4kankeisya_houkokusyo.pdf</a></p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校ホームページ 「学校概要」 <https://www.miyajobi.ac.jp>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H145320186347
学校名	宮崎情報ビジネス医療専門学校
設置者名	学校法人宮崎総合学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		85人	79人	88人
内 訳	第Ⅰ区分	47人	47人	
	第Ⅱ区分	23人	21人	
	第Ⅲ区分	15人	11人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				88人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数



	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		-	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		-	-
「警告」の区分に連続して該当		0人	-
計	0人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		13人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	0人
計	0人	14人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。